

荒牧 弘敏 議員

今後の農業振興は

永野産業振興課長

できる限り、ほ場の有効利用を

	平成25年度実績	平成30年度計画
水稻	514ha	510ha
麦	476ha	620ha
大豆	206ha	230ha



問 耕作放棄地の対策については。
永野産業振興課長 農業委員会の農業振興に係る業務の中に耕作放棄地の対策業務があり、農業委員会では年1回農地パトロールを行ない、耕作放棄地の圃場について協議会で協議・検討していただくことになると思う。

問 米・麦・大豆の作付の現状と今後の計画については。
永野産業振興課長 第一次京築地域農業振興計画（平成26年度～平成30年度）に基づき町では左記の計画で関係機関と協力して振興していく。水稻については、高温耐性品種である「元気つくし」を「ヒノヒカリ」の代替品種として振興したい。麦については、現状より144ha増の620haで計画、大豆は反収のある指導を関係機関と取り組み農業者の所得向上に向けて振興していく。

問 飼料米の今後の導入方針については。
永野産業振興課長 転作作物である大豆での作付可能な農地については従来どおり大豆での推進を図り、困難な湿害地においては飼料米の作付を推進していく方針である。

問 新たな政策で米の直接支払交付金の削減される中で、29年産までの時限措置となるが、町独自で助成の検討は。

問 耕作放棄地の対策については。

問 植栽を多くするが管理運営について。

問 発売完了後の税収は概ねどの程度見込んでいるか。

問 自治会の位置づけは。

問 保護者との話し合いは。

問 保護者への要望は。

問 全体的な売れ行きは。

問 売れ行きが悪い部分については何か対策は。

問 購入者の現住所は。

問 年齢層は。

問 買り手の現住所は。

問 購入者の年齢層は。

問 買り手の年齢層は。



あるが、平均で40歳前後の夫婦子ども2人の4人世帯で、年収約550万円で想定すると固定資産税、町税などの年間1世帯あたりの税収は約22～23万円となり、76区画全て完売後は年間合計で1700万円前後の税収が見込まれる。

高畠 廣視 議員

学校の授業が乱れているようだが

百留教育長 学校を訪問していただきたい



授業が乱れている小学校もあるようだが。

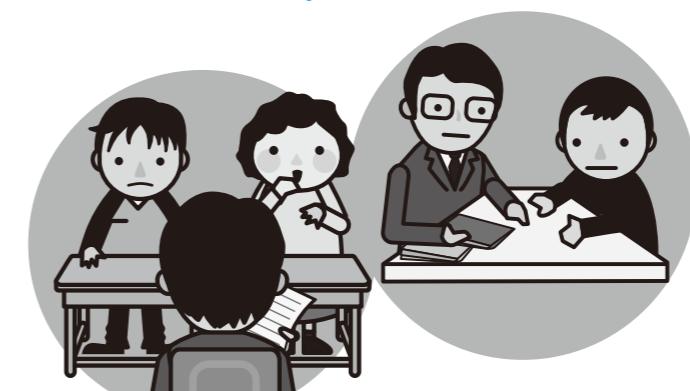
現在、緊急を要する対策なので校長以下、全教員で授業に出ている。学力アップの先生も4、5年生の授業に出て鎮静化を目指している。また、新たな試みで中学校の保健体育の先生にも体育の授業をしてもらっている。

PTAの方からお願いして言つていただけるのが理想かと思う。学校での姿と家庭での姿が違う生徒もいて、できるだけ多くの保護者に学校へ来てもらうようにお願いしている。

問 生徒・先生・保護者の三者間での話し合いは。

百留教育長 学校は子どもと話す、親と話す、三者で話すなど、いろいろな形で話し合ったと聞いている。

コモンパーク状況は（築上東高跡地）



尾崎情報企画課長 先ほど議員さんへお配りしておりますが、3月21、22、23日の3日間で、コモンパーク上毛彩葉の街びらき住宅祭」というものを大々的に行い、少し売れ行きが悪いのではないかと考えている。

